



総合計画審議会
にしながよしすけ
会長 西永由典さん
(片野町3)

総合計画の
着実な推進を期待

高山市総合計画審議会では、市長の諮問を受けて審議会を開催し、計画の内容について協議してきました。

現在わが国の社会経済情勢は不安定で、先の見通しが立ちにくい状況にあります。審議会では、情勢の変化に的確迅速に対応されたいこと、確実に到来する超高齢社会に向けた福祉政策の充実などを求める意見書をつけ、全会一致で了承して市長に答申しました。

今回策定された後期計画は、みんなで支えあう地域福祉に始まり、各事業の実現には官民協働した地域づくりが必要であるという地域力の向上で結んでいることに大きな特徴があると思います。市町村合併から5年が経ちました。高山市のまちづくりには、それぞれの分野では課題はあるものの確実に成果を挙げていることは評価すべきものであり、今後5年間もこの方針のもと計画を着実に推進されていくことを期待します。

個性あるまちをめざして

- 温泉資源、北アルプス（飛騨山脈）や白山などのすぐれた山岳景観など豊富な自然地域に加え、高山祭などのすばらしい伝統文化、伝統芸能、食文化、方言、人情、慣習、風俗などを有効に活用しながら計画的に地域の振興を図ることにより個性あるまちづくりをすすめます。
- 《地域別の主な取り組み》
- 丹生川地域
 - 自然の魅力を紹介するためのガイドの育成や安全に利用できる施設整備
 - 宿讎かぼちゃなど地域特産物の育成強化や特産物を活用したあらたな加工品の開発
- 清見地域
 - 生活環境保全林など貴重な
- 自然資源の保存・活用
 - 地産地消や飛騨牛ブランドを活用した地域づくり
- 荘川地域
 - ソバの生産拡大や高原野菜の産地化
- 地域資源にふれあえる場や農村体験が楽しめる場の創出
- 一之宮地域
 - グリーンツーリズムの推進など
- 自然を体感できる機会の充実
- 地域が一体となった「桜の里」づくり
- 久々野地域
 - 果樹とそ菜のブランド力の強化と高付加価値化
- 舟山、あららぎ湖周辺の環境整備と有効活用
- 朝日地域
 - 恵まれた自然環境を活かした
- グリーンツーリズムの推進
 - 田舎暮らしを体験できる施設を活用した地域の魅力発信や移住者の確保
- 高根地域
 - ダム湖を活用した観光関連施設の検討
- 「のくとい館」の活用などによる生きがいのある地域づくり
- 国府地域
 - 農耕文化の保存・継承
 - 国府支所の整備や周辺施設との機能的な連携の強化
- 上宝・奥飛騨温泉郷地域
 - 北アルプス（飛騨山脈）の魅力と温泉の恵みを活かした観光振興
- 観光産業と連携した循環型農業の推進



市内21カ所で開催した地区懇談会

多様化する
市民ニーズに応える

アンケートや懇談会で「声」を集約

総合計画後期基本計画の策定にあたっては、総合計画審議会や市議会における議論をはじめ、市民および団体アンケート、各地域での市民懇談会を実施するなど市民のみならずともにつくる総合計画を目指してきました。

今後は、この計画にもとづき観光客などの交流人口や移住者の増加、活発な産業活動などにより子どもから高齢者まで誰もが住みよさを実感でき、元気で安全で安心して暮らすことができる誰にもやさしいまちの実現に向け、市民のみなさんとともにまちづくりをすすめていきます。